

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題		
教科指導	密度の濃い授業を展開する。	学習目標に沿う授業計画を立案し授業に臨む。①②	B	B	・アクティブラーニングなどの指導方法を取り入れた授業を展開したい。	
		授業実施後は、適宜、生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業の改善に努める。①②③	B			
教	基礎・基本の学力を養成する。	生徒の実態を踏まえた年間計画を作成・実施し、その中で絶えず指導の工夫改善に努める。①②	B	B	・1年次での「ISベーシック」との連携、2年次3年次の短時間授業の内容を工夫したい。 ・生徒の実態を鑑み、自由選択科目の内容充実を図りたい。 ・日本語が母語でない生徒への指導内容を検討し、改善を図りたい。	
		生徒の理解状況や指導方法について、担当者間で打合せをし、きめ細かな指導を行う。②③	A			
		選択科目等を活用しながら、漢字検定・日本語検定の合格者を増やすために指導を徹底し、合格率アップに努める。④	A			
		個に応じた指導を行う。日本語が母語ではない生徒に対し、必要に応じて課外を開講するなどして、基礎学力の養成を目指す。①	B			
	地歴公民	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	少人数授業、習熟度別授業を設定し、個に応じた助言を行うことで、全員が分かる授業を展開する。②③	B	B	・多様な生徒の興味・関心や、進路希望等に適切に対応できるように、史資料や視覚資料を活用するなど、指導方法や指導内容の工夫・改善を行いたい。 ・主権者教育を導入したり、言語活動やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を活用するなど、授業内容のさらなる検討を図りたい。
			科目の目標や指導内容等を明確にした年間計画を作成する。①②	B		
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材や指導方法を工夫改善する。①	B			
		資料・史料の活用や、発見学習の要素を取り入れる。①②	B			
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。②③ 長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。②③	B			
	科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	生徒の実態に応じて、教材を吟味し授業展開の工夫を図る。①②	B	B	・生徒が数学に対して興味・関心を抱くような授業を目指して工夫改善を図りたい。 ・生徒の能力に応じた適切な題材・指導法を模索したい。
例題や問題を多く出題する。①②			A			
机間指導を多く取り入れる。②			B			
達成度に応じた魅力ある授業を展開する。		問題集やプリントを活用し、生徒の達成度に応じた指導を行う。①②	A			
		成績不振者を出さないよう、補習等を行う。①②	B			
基礎的学習能力を高める。		少人数クラスによる授業を実施する。基礎的な内容を扱う時間を設ける。①	A			
理科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	教科や科目の学習目標及び学習内容（評価基準等を含め）を明確にして、年間学習計画に基づいて指導する。①②	B	B	・安全に実験や観察のできる学習環境の維持に努めたい。 ・生徒が科学に対して興味・関心を抱くような授業に工夫改善をしたい。	
		生徒が科学的事象に興味・関心を示す教材の開発や教科指導法の研究をする。①②	B			
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	実験や観察を通じた学習指導を行う。	B			
		知識を教える授業から互いに学びあう双方向の授業を展開する。授業について教科内研修を行い、互いの指導技術を高める。①②③				

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題	
教	保 健 育	指導内容や指導方法の工夫を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ② ③	A	A <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の興関心意欲や技能に差がある中で、協調性を育む指導法を工夫したい。 生涯に渡って運動に親しむためのポイントを具体的に提示できるよう指導法を工夫したい。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ②③	B	
			多面的な角度から評価ができるように工夫する。 ②	A	
		本校の教育方針に則った授業展開を工夫する。	自主的な活動を促す授業展開を工夫する。 ②	A	
			体育の授業（球技を中心に）においてコミュニケーション能力の育成を図る。 ②	A	
			体育の授業において忍耐力を養う授業展開の工夫をする。 ②	B	
	芸 術	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ②	B	A <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の実技能力の差がある中で、興味・関心を如何に高め芸術に関する意欲を喚起し、自らが前向きに芸術活動に参加する態度を養っていききたい。 芸術文化についての理解を深められるよう、我が国の伝統的な芸術文化について積極的に授業に取り入れていききたい。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A	
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。 ②	A	
			長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ③	A	
		自己評価によって学習の軌跡を振り返る。	自己評価カードや創作ノート等を活用する。 ②	B	
	科	外国語	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	B
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A	
			教科会等を通し、担当者間や教科内で情報交換を行い、研修に努める。 ①③	B	
個に応じた魅力ある授業を展開する。		少人数習熟度別クラス編成により、生徒の実態に応じた授業展開を工夫する。 ②③	A		
		長期休業中や放課後等を活用し、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒に対し、個に応じた学習指導を行う。 ②③	B		
家 庭	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	A	B <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な内容を定着させるために、教材や授業展開を工夫改善する。そのため、教科会を定期的に関き、情報交換と研修を充実させ、教員のスキルアップを図りたい。 学習が遅れがちな生徒に対しては、クラス担任との連絡を密にしながら補習を行いたい。 	
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	B		
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B		
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ① ③	A		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題			
教 科	情報	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する ① ②	B	A	・情報モラルについて、特に重点的に指導していきたい。		
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材及び指導方法を工夫する。 ①②	A				
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	授業への意欲が向上するような魅力ある題材を取り入れる ①②③	A				
	商業	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	B			B	・資格取得に力を入れていくため生徒の意識を変える取り組みと、課外などの時間を設け検定試験の取得率を上げたい。
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A				
		資格取得に力を入れた指導を展開する。 ⑭	B					
個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B						
	長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②③	B						
教 務	基礎・基本の学力を養成する。	わかりやすい授業を展開するため、少人数・習熟度別授業等に関する校内研修を充実させる。授業における指導法や内容等について、全校体制で改善を図る。 ①②③	B	B	・基礎学力の習得・定着を確かなものにするために、少人数授業習熟度別授業に関する校内研修を充実させたい。 ・本校の特色的な教育活動について、情報発信を推進したい。			
		秋に保護者や地域の方々を対象とした公開授業を実施する。その際、アンケート調査を実施し、結果を活用する。 ①②③⑭⑰	A					
		現在の教育課程における課題点を把握・整理し、教育課程の見直しを継続的に行う。 ②⑰	A					
	学習意欲の向上を図る。	学習実態調査等をもとに生徒の学習実態を明らかにし、授業や家庭学習への取組状況の改善を図る。 ①②③	B					
		少人数・習熟度別授業の実施を継続するとともに、教科を越えて授業を互観し、学習意欲を喚起する指導に関する研修に努める。 ①②③	A					
	家庭や地域社会との連携を密にする。また、外部に対する教育活動の周知に努める。	欠席・遅刻防止の指導に努めるとともに、出席状況等について、保護者との連絡を密に行う。 ④⑤⑨	A					
		「体験学習」について、授業公開及び研究協議を実施する。 ②③⑰⑱	A					
本校の教育活動について、機会をとらえ、「学校だより」やホームページ、各種メディア等で積極的に発信する。 ③⑰⑱⑲	A							

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
生徒指導	本 活 的 習 確 生 活 の 確 立	日常生活のリズムの確保を図る。	HR、授業、登校指導を通しての日常的な生活指導を重視する。 ④⑤	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対する細やかな観察や面談を重視し、問題行動を未然に防ぐようにしていきたい。 全校生徒に対する注意喚起の方法を工夫し、自立性のある生徒を増やすような雰囲気作りをしていきたい。 スマホの使用方法について、生徒と保護者が協同して改善していきけるように援助していきたい。
		服装、頭髪等の改善と生活マナーの向上を図る。	毎日の服装容儀指導、定期的な集会での検査、不合格者の指導を徹底する。 ④⑤⑧⑨	A		
		交通安全、交通ルールへの順守、自転車・バイクの安全運転と管理を徹底する。	集会での講話、校外キャンペーン活動、HRでの指導や定期的な安全検査を実施するとともに、啓発ちらしの配布を行う。 ⑥⑦⑧	B		
		常に生徒の実態把握に努め、いじめ、問題行動や退学志向の未然防止を図るとともに素早い対応を行う。	面談や観察及び巡回指導を重視するとともに、情報の共有化を図り、年次間で協調して指導をする。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	A		
			いじめ防止のために、アンケートを年2回実施するとともに生徒とのコミュニケーションを緊密にとり、未然防止及び早期発見に努める。 ⑥⑦⑧	A		
	校 内 生 徒 指 導 体 制 の 充 実 ・ 強 化	クラス内の生徒間の好ましい人間関係づくりに努める。	HR経営の研修や各種アンケートを実施する。 ②	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係諸機関との連携を維持し、さまざまな角度から生徒の安全を確保出来るようにしていきたい。
		生徒の自主的活動を育て生活改善に取り組む。	特活行事の工夫、生徒参加の校外キャンペーンの実施(さわやかマナーアップ)、自主的体験活動の実施に努める。 ⑩⑪⑫⑬	B		
		教育相談の校内体制を整備し、機能的な取組に努める。	相談体制の周知広報に努めるとともに、相談チームの活性化を図る。 ⑨⑩⑪	B		
		家庭、中学校、警察、地域など校外関係機関との連携強化を図る。	P T A 関連行事の活用、家庭訪問や近隣中学校の訪問、警察署との密接な交流などを実施することで、キャンペーンの広報及び協力要請を行う。 ⑫⑬	A		
進路指導	年次と連携し、ホームルームや総合の時間を利用して体系的な進路指導を行い、生徒の希望する進路を実現させる。	1年次：インターンシップや進路ガイダンスを通し、適切な職業観を育成する。その上で、2年次の授業の選択及び進路について考えさせる。 ⑫⑬⑭	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 希望する進路の早期実現を目指して、キャリアガイダンス等をさらに充実させたい。 面接試験等の対策に組織的系統的に取り組む体制を一層強化させたい。 年次間の指導内容の引き継ぎを円滑に行いたい。 	
		2年次：進路別ガイダンスや講話により、各自の進路に関する知識を深めさせる。また、面接や履歴書の書き方などの練習を行い、3年次の進路活動を意識させる。 ⑫⑬⑭	A			
		3年次：個人面談を充実させ、個に応じた指導を行い、進路を決定させる。面接や自己PRなどの練習を繰り返し、生徒が自信を持って受験できるように指導する。 ⑫⑬⑭	A			
	希望する進路を実現させるため、学力を向上させる。	学力向上及び資格取得のため、放課後に課外授業を実施する。 ⑭	B			

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
保健厚生	健康についての知識や能力を高め、健康の保持増進をさせる。	定期健康診断を実施し、適切な指導を行う。④	A	B <ul style="list-style-type: none"> 自己の健康や安全に対して、より意識を高めることができるよう保健教育及び保健指導を充実させたい。 ゴミの散乱やガムの吐き捨て等が以前より改善されてきているので、今後もより環境美化意識を向上できるように指導をしていきたい。
		性に関する知識と意識を高められるように、ピアカウンセリングを実施する。④⑪	A	
	災害の未然防止と発生時の適切な対応力を身につけ、安全への意識を高める。	救命講習会を実施する。④	A	
		避難訓練を実施する。④	B	
	ゴミの分別や毎日の清掃活動を通じて、環境美化の意識を高める。	毎日の清掃指導を徹底する。④⑧	B	
渉外	P T A 活動の活性化を図る。	本部役員を中心に共通理解を深め、会員全体が協力して充実したP T A 活動が実施できるように努める。⑬⑭	B	B <ul style="list-style-type: none"> P T A 総会への出席率向上を図るため、出席依頼をお願いするP R 文書を保護者に送付したい。
		P T A 総会、研修旅行、柏葉祭、各種研修会への参加率を向上させる。⑬	B	
	広報活動の充実を図る。	P T A 会報の発行により、学校の概況を発信し、保護者に読まれるような紙面作りに努める。⑭	A	
	同窓会の活動を定着させる。	10周年記念式典に向けて、同窓会としての活動を始める。⑭	B	
図書	読書意欲の向上を図る。	図書委員会活動を活性化させ、学級文庫を年に2回実施する。読書を奨励し、年度末には多読者の表彰をする。①②	A	B <ul style="list-style-type: none"> 図書館や図書の利用を促進するために、本の情報や購入図書の紹介等を実施したい。 図書委員会活動をより一層充実させる。そのために具体的な方策を新たに検討したい。
	図書・資料の充実を図る。	購入希望図書の調査をし、リクエスト図書を受け付ける。①	B	
		購入図書の広報、本の情報を掲示・展示する。①②	C	
	図書館・視聴覚室の利用を促進する。	授業に必要な図書・視聴覚資料を購入する。①②	A	
		生徒向けのビデオ上映会を行い、図書を身近なものと意識させる。①⑬	A	
図書管理のシステム化を進める。	図書の整理(廃棄も含む)を行い、書架を見やすく整理する。①②	A		
特活	H R ・生徒会活動・学校行事を通して、自主的で実践的な人間形成に努める。	行事内容を検討し、学校行事の活性化を目指す。⑫⑮⑰	B	B <ul style="list-style-type: none"> 各行事に生徒が自主的に参加するような工夫を検討したい。 あいさつや校内美化の更なる徹底を図りたい。 部活動の加入率を上げるための方策を検討したい。
		生徒会活動を通してあいさつの励行、学校美化を図る。⑭⑮	B	
	集団意識の高揚を図り、責任感の向上を図る。	あいさつ運動やボランティア活動を通して生徒の自主性や責任感の育成を目指す。⑬⑮	A	
		学校行事等での企画、準備・運営においての生徒の積極的な参加を促すとともに、リーダーとなる生徒の育成を図る。⑬⑭⑮	B	
部活動の活性化を図る。	部活動紹介、体験入部や各部壮行会を通して、部活に対する意識の向上を図り活性化につなげる。⑬⑮	B		

※ 評価基準 A : 十分よい B : よい C : やや不十分 D : 不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
教育情報	Webページ等での広報活動に努める。	Webページ等で積極的に本校の広報活動を行う。⑰	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報ネットワークの更新も無事に済んだので、次年度は管理事務の移行もスムーズに進めたい。
	校内研修会を実施する。	職員の情報セキュリティに対する知識・理解向上のため、研修会や資料配布などの啓発活動を行う。⑰	B	
	校内の情報機器を管理する。	パソコンやUSBメモリなどの情報機器の貸し出し及び管を行う。⑰	B	
	教育情報ネットワークの更新に対応する。	教育情報ネットワークの更新に伴う諸事案に対応する。⑰	A	
第1年次	基礎学力の育成と学ぶ意欲の涵養を図る。	ISベーシックIでの学び直しの授業を通して、中学校における復習を行う。また、英国数等の少人数授業によりきめ細かな学習指導を行い、基礎力を定着させるための素地を作る。 ① ②③ ⑰	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ISベーシックIは、生徒によって物足りなく思ったり、逆に難しく感じたりすることがあるので、教材の改訂をしたり、進度に応じた指導ができるような工夫をしたい。 ・基本的な生活習慣は、個人差が大きいので、さらに指導を加えていきたい。 ・学校行事に積極的に取り組ませるとともに、部活動の参加率を上げたい。
	基本的な生活習慣の確立を目指す。	挨拶の励行と服装容儀指導を全体に徹底させるとともに、きちんとした生活習慣を身に付けさせ、充実した学校生活を送れるよう個人面談等を通して指導する。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
	部活動を推奨し、学校行事への積極的な参加を促す。	学校行事への積極的な参加を促し、集団における成長を図る。また、部活動参加を積極的に呼びかけ、加入率アップを目指す。同時に部活動においてリーダーとなれる生徒を育成することで学校行事の活性化を目指す。 ⑦⑧⑮⑯	B	
	進路指導の充実を図る。	キャリアスタディIやLHR、道徳、年次行事等を通して、3年間を見通したキャリア教育の土台作りを行う。また、インターシップ等を通して社会の求める人材の育成に努力し、地域社会から認められる学校を目指す。 ⑨⑫⑬⑭⑰	A	
第2年次	基礎学力の育成と定着を図る。	ISベーシックIIや英数国における習熟度別少人数授業を通して、確かな基礎学力を身に付けさせる。授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 ①②③⑰	B	進路決定・卒業に向けて、 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き基礎学力の充実を図るとともに、一般常識対策などにも取り組みたい。 ・服装頭髪を徹底し、さらに、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、社会人として必要となることを身につけさせたい。 ・最高年次の生徒として、様々な活動場面において活躍させたい。
	基本的な生活習慣を確立させる。	挨拶の励行と服装容儀指導は年次全体を組織的に取り組む。また、日常の声かけや個人面談を指導に活用するとともに、家庭と協力して欠席・遅刻・早退の数を極力減少させる。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
	特別活動に積極的に取り組ませる。	文化祭、クラスマッチ、野球応援等の学校行事への積極的な参加を通して愛校心や思いやりの心を育てる。また、集団行動において一人一人が役割を果たすことにより、生徒の成長を促す。 ⑦⑧⑮⑯	B	
	キャリア指導の充実を図る。	キャリアスタディII、総合的な学習の時間、LHRを中心に、自己の在り方生き方について深く探求させ、生徒の進路希望を考慮したキャリア教育を行う。 ⑨⑫⑬⑭⑰	A	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
第3年次	基礎学力の養成と定着を図る。	授業を大切にする気持ちを持たせ、授業に集中させる。また、基礎学力の定着と学力向上を図る。 ^{②③} LHRや「総合的な学習の時間」を活用し、就職試験(筆記試験)や上級学校入学試験の対策を実施する。 ^{②③}	B	B <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着・向上のために、家庭学習の習慣化を図る方策が必要である。 進路(上級学校・就職等)内定後の学校生活をさらに充実させる指導の在り方を検討したい。 進路(上級学校・就職等)決定においては一定の成果を収めたが、ミスマッチを防ぐためには、より深い自己理解と進路研究が不可欠である。そのための方策を研究し、適切に講じたい。 生徒が主体的に運営に参加する年次行事等を企画・実施したい。 学校と家庭双方向のコミュニケーションを促進したい。
	基本的な生活習慣の確立と生活指導の充実に努める。	社会人になることを意識させ、欠席・遅刻・早退をさせないようにするとともに、時間厳守を心がけさせる。 ^{④⑤⑧} 服装容儀や頭髪についても日常的に厳しく指導し、普段から正しい服装を心がけさせる。 ^{④⑤⑧} 年次通信を定期的に発行し、家庭の協力と理解を得る。 ^④ 個人面談を繰り返し生徒の実態を踏まえた生活指導を行う。 ^⑨ 教員間での情報交換を行い、年次全体で生徒指導を行う。 ^⑩	B	
	進路指導の充実に努める。	教員に対する言葉遣い、校内での所作から来客への会釈(挨拶)に至るまで社会人として必要な礼儀作法を、日常の学校生活において意識的に指導し、身に付けさせる。 ^⑦ 個人面談を通して生徒一人一人に応じた進路指導を行う。 ^⑬ 「総合的な学習の時間」やLHRにおいて面接指導を徹底する。また、進路指導室を積極的に利用させ、適切な情報収集ができるようにする。 ^⑫	A	
	特別活動の推進に努める。	クラスマッチや文化祭等の学校行事を通して、生徒一人一人に活躍の場を与え、成就感を体感させる。 ^⑯	B	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分